

その他

評価案件名 (物質名等)	(物質の)区分	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
アンチモン	汚染物質	蓄電池、軸受け等減摩合金、特殊鋼、電線・ケーブル等の材料として使用される物質です。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:24.3.22専門調査会)
鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価	耐性菌	フルオロキノロン系抗菌性物質は、広範囲な抗菌活性を持っている合成抗菌剤で、様々な感染症の治療に使用されています。 備考:「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価」では、現在、必要な資料が揃った薬剤から順次評価を行っています。	肥料・飼料等／微生物・ウイルス合同専門調査会(薬剤耐性菌に関するワーキンググループ)	合同専門調査会にて審議中(最近の議事:24.5.14肥料・飼料等/微生物・ウイルス合同専門調査会(薬剤耐性菌に関するワーキンググループ))
クロム(六価)	汚染物質	融点、耐酸化性が高い金属です。合金の成分として特殊鋼分野、非鉄金属分野で広く利用されています。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	清涼飲料水部会にて審議中(最近の議事:21.8.17部会)

その他

評価案件名 (物質名等)	(物質の)区分	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
高濃度にジアシルグリセロール(DAG)を含む食品の安全性について		<p>ジアシルグリセロール(DAG)は、通常の食用油の主成分であるトリアシルグリセロール(TAG)と比べて脂肪酸が1個少なく、脂肪の吸収がされにくいいため、体に脂肪が付きにくいとされています。ほとんどの食用油に1～10%程度含まれる脂質です。本案件の中の食用調理油には80%以上含有されています。</p> <p>備考: DAGの発がんプロモーション作用については平成21年2月に追加試験の結果が提出されました。一方、脱臭工程で混入するグリンドール脂肪酸エステルについて、その分解物であるグリンドールによる発がん性の懸念があるという研究がヨーロッパで発表されました。そのため現在、混入不純物であるグリンドール脂肪酸エステルについての検討を行っています。</p>	高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ(上記WG設置まで:新開発食品・添加物専門調査会合同ワーキンググループ)	ワーキンググループで審議中。(最近の議事:23.2.28WG)
ジクロロ酢酸	汚染物質	ジクロロ酢酸などのハロゲン化酢酸類は、浄水過程において水道原水中の有機物質が臭素又は消毒剤(塩素)と反応して生成される消毒副生成物質の一つです。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:24.1.27化学物質・汚染物質専門調査会幹事会)
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素	汚染物質	硝酸イオン及び亜硝酸イオンは自然由来のイオンであり、窒素循環の一部を担っています。硝酸塩は主に無機肥料に使用され、亜硝酸ナトリウムは食品防腐剤として、特に塩漬け肉において使用されています。	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事:24.2.23専門調査会)

その他

評価案件名 (物質名等)	(物質の)区分	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
セレン	汚染物質	乾式複写機感光体、熱線吸収板ガラスの着色剤、鉛ガラスの消色剤等に用いられる物質です。自然水中に含まれることもありますが、その多くは鉱山排水、工場排水などの混入によります。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.3.22 専門調査会)
ニッケル	汚染物質	ステンレス鋼、特殊鋼、メッキ、蓄電池、非鉄合金、触媒等の材料として使用される物質です。鉱山排水、工場排水あるいはニッケルメッキ製品からの溶出により水道水に混入することがあります。	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.2.21 専門調査会)
バリウム	汚染物質	バリウム化合物は、有機顔料、製紙、管球・光学ガラス等広く工業用途に利用されています。火成岩や堆積岩中に微量元素として存在しています。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.2.21 専門調査会)
フッ素	汚染物質	水中にフッ素イオンが存在するのは、主に地質や工場排水の混入に起因します。自然界に広く分布するホタル石はフッ化カルシウムが主成分であるため、温泉地帯の地下水、河川水に多く含まれることがあります。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.2.21 専門調査会)

その他

評価案件名 (物質名等)	(物質の)区分	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
ホウ素	汚染物質	金属表面処理剤、ガラス、エナメル工業などで使用される物質です。自然水中に含まれることはまれですが、火山地帯の地下水、温泉にはメタホウ酸の形で含まれることがあります。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。 (最近の議事: 24.3.22専門調査会)
マンガン	汚染物質	ステンレス、特殊鋼の脱酸及び添加剤等に用いられる物質です。水中のマンガンは、主として地質に起因しますが、鉱山排水、工場排水などの混入が原因となることもあります。(清涼飲料水の規格基準改正に伴い食品健康影響評価を行う案件)	化学物質 ・汚染物質	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。 (最近の議事: 24.3.22専門調査会)